

# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2016年11月15日



**パンチ工業株式会社**

(証券コード: 6165 東証第一部)

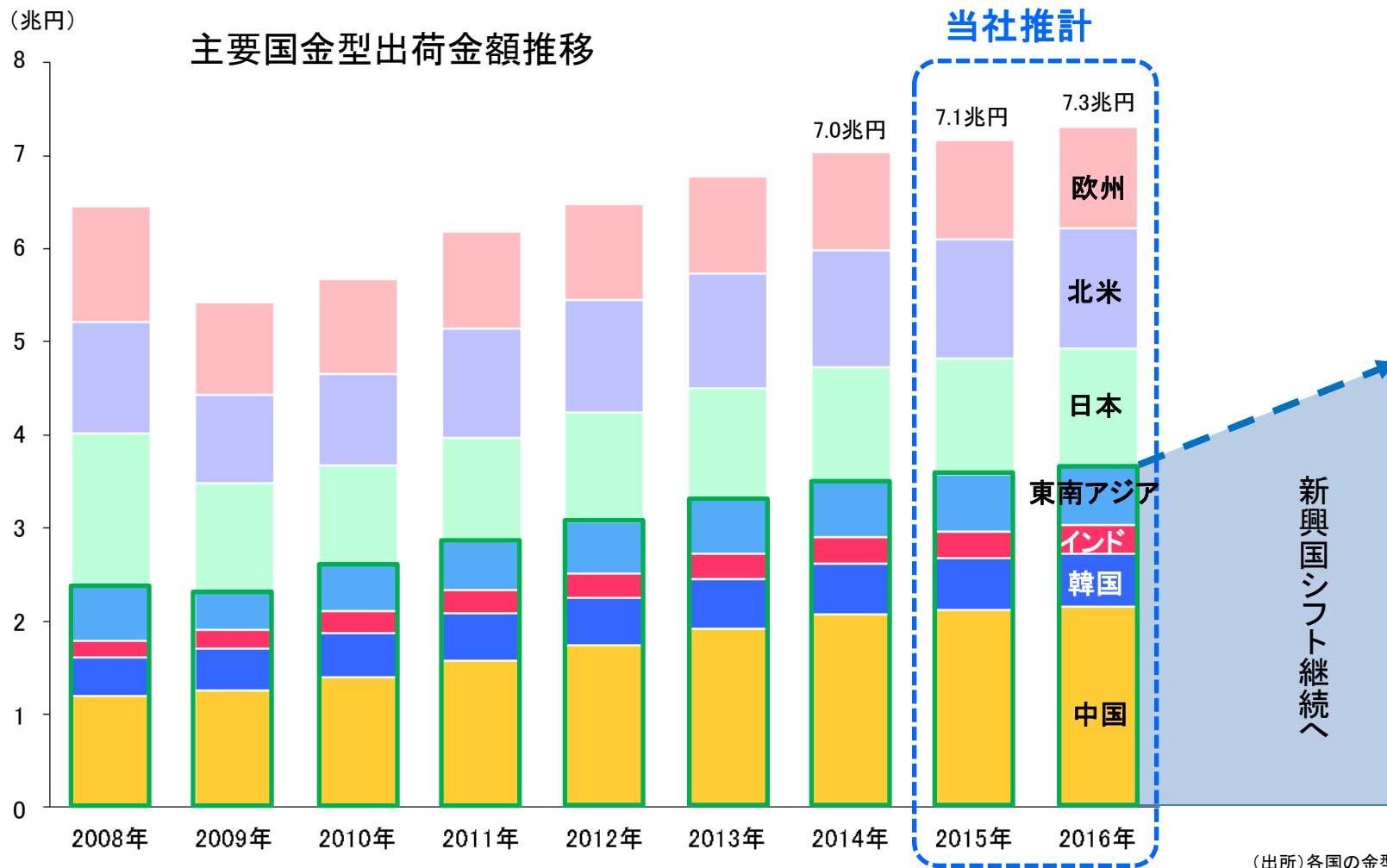
1. 経営環境
2. 2017年3月期 第2四半期決算概況
3. 2017年3月期 業績予想
4. 中期経営計画  
「バリュークリエーション2020」の進捗
5. 参考資料

# 1. 經營環境

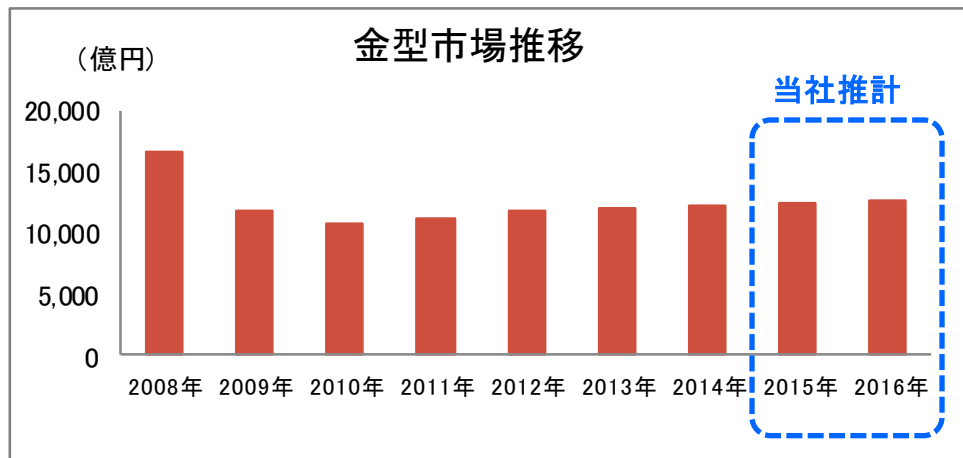


# 金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実に回復。緩やかながらも成長基調。



# 国内市場



個人消費の伸び悩みや海外情勢の不確実性の高まりによる為替相場等の変動が、企業収益や景況感の下押し圧力となっており、製造業の生産活動が弱く足踏み状態が続く。

## 顧客業界 動向

### 自動車

熊本地震や軽自動車税見直しの影響等により生産が鈍化。

### 電子部品

スマートフォン市場の成長鈍化や為替変動の影響により、受注が低迷。

### その他

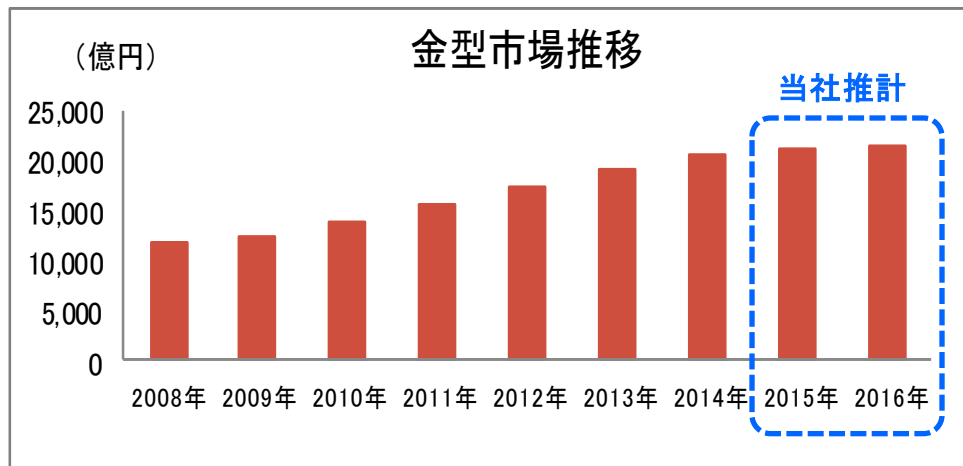
中国向けの半導体が好調。

## 課題

リバースエンジニアリングによるお客様サービスの向上。



# 中国市場



経済成長減速の懸念はあるものの、第1～3四半期の国内総生産(GDP)成長率は6.7%となり、景気は安定成長を維持。自動車が好調。

## 顧客業界 動向

### 自動車

小型車減税終了前の駆け込み需要等もあり生産は引き続き好調。

### 電子部品

地場の新興スマートフォンメーカーの台頭が著しい。

### その他

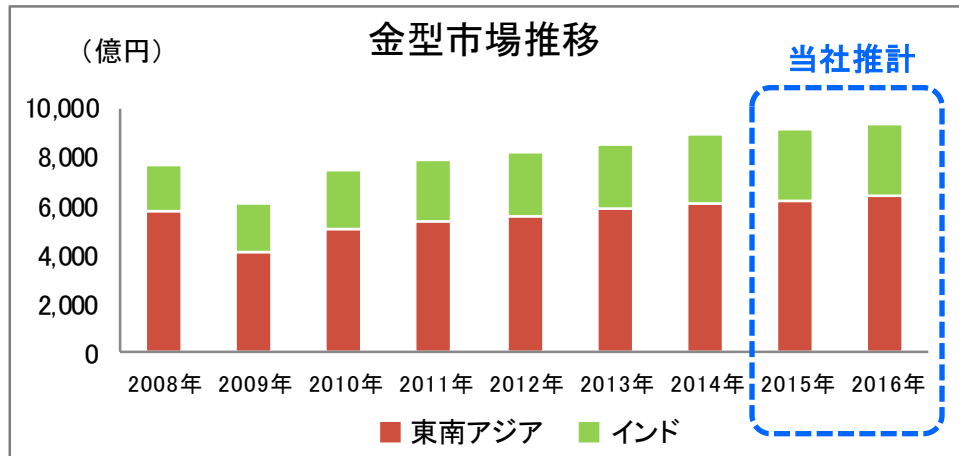
精密機器は堅調、家電は軟調推移。

## 課題

特注品強化のための生産体制再編。



# 東南アジア・インド市場



【東南アジア】各国独自の経済政策や内需の支えなどにより、全体的に緩やかなペースでの経済成長が続く。

【インド】4～6月期の国内総生産(GDP)も7%台を維持。

## 顧客業界 動向

### 自動車

生産台数は、タイ、インドネシアは堅調。マレーシアは低調に推移。

### 電子部品

低価格帯スマートフォンの需要が引き続き旺盛。

### その他

家電が引き続き好調。

## 課題

グローバルソーシングによる受注拡大。



## 2. 2017年3月期 第2四半期 決算概況



## 第2四半期 決算ハイライト

為替変動の影響や国内景気の停滞が続いており、減収減益となったものの、中期経営計画「バリュークリエーション2020」における各施策は順調に進捗中。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比99%、1億円減の178億円となった。
	日本	半導体、飲料関連は好調だったが、熊本地震の影響等による生産鈍化もあり自動車関連が微増にとどまり、前年同期比で横ばいの76億円となった。
	中国	引き続き自動車関連が好調なことに加え、高付加価値の戦略製品も伸長し、現地通貨ベースでは前年同期を大きく上回ったものの、為替変動の影響により、邦貨ベースでは前年同期比97%の85億円となった。
	その他	欧州、インドネシア、ベトナムが好調で、前年同期比101%の16億円となった。
利益		原価率が海外を中心に前年同期よりも良化したものの、売上減少による影響、研究開発投資などによる販管費の増加等により、営業利益は前年同期比87%の8億円となった。同時に、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を下回った。
ネット資金		ベトナム工場への投資等により、期首から4億円減少となった。



# 決算概況

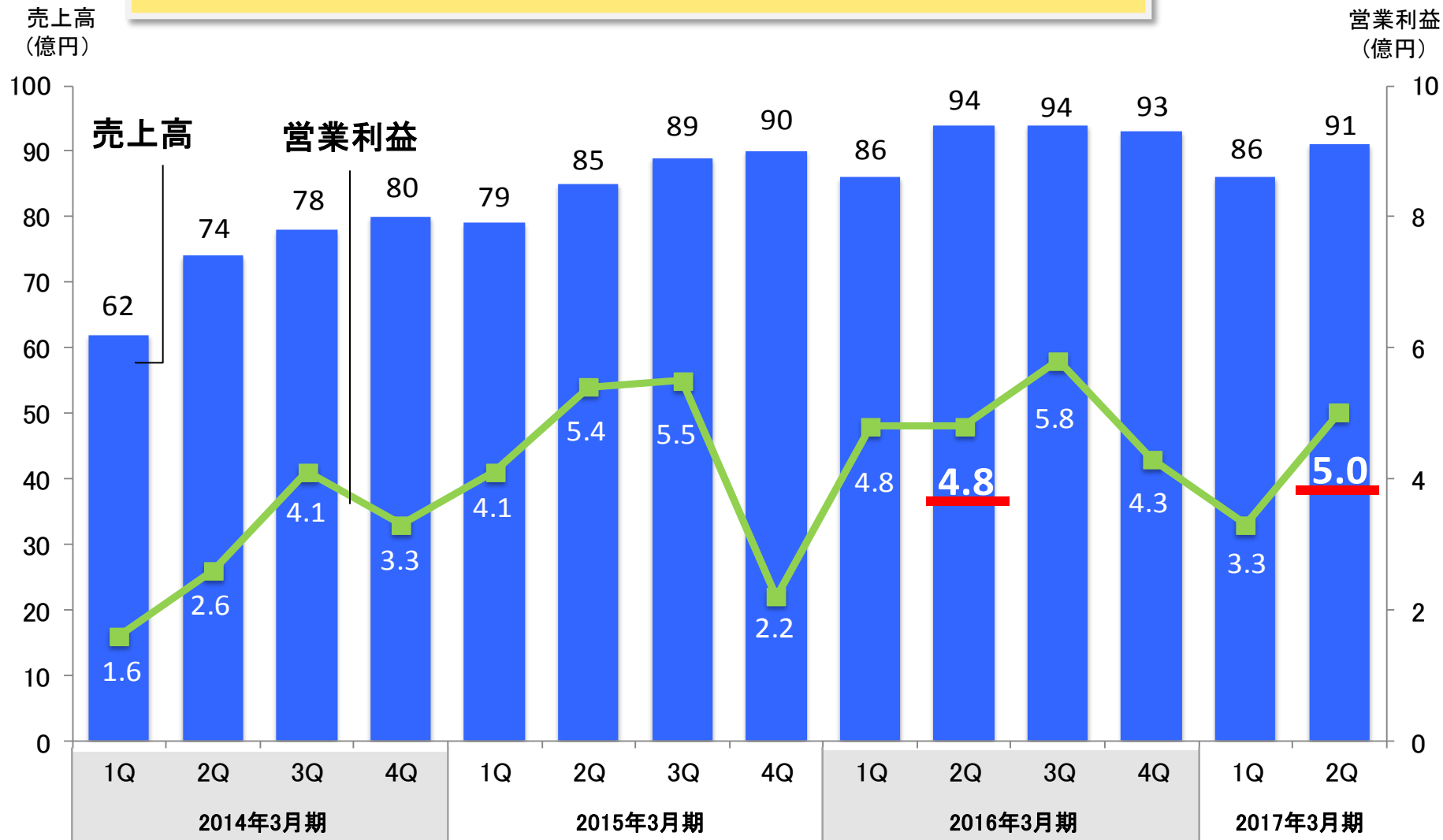
(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期累計 実績	2017年3月期 第2四半期累計					
		期初予想 (5/11公表)		実績		前年同期差 (前年同期比)	期初予想差 (期初予想比)
売上高	18,030	18,050		17,846		▲183 (99.0%)	▲203 (98.9%)
営業利益	5.3% 960	5.4% 970	4.7% 841		▲119 (87.5%)	▲128 (86.7%)	
経常利益	5.2% 931	5.4% 982	4.4% 791		▲139 (85.0%)	▲190 (80.6%)	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4.0% 723	4.0% 731	3.1% 549		▲174 (75.9%)	▲181 (75.2%)	



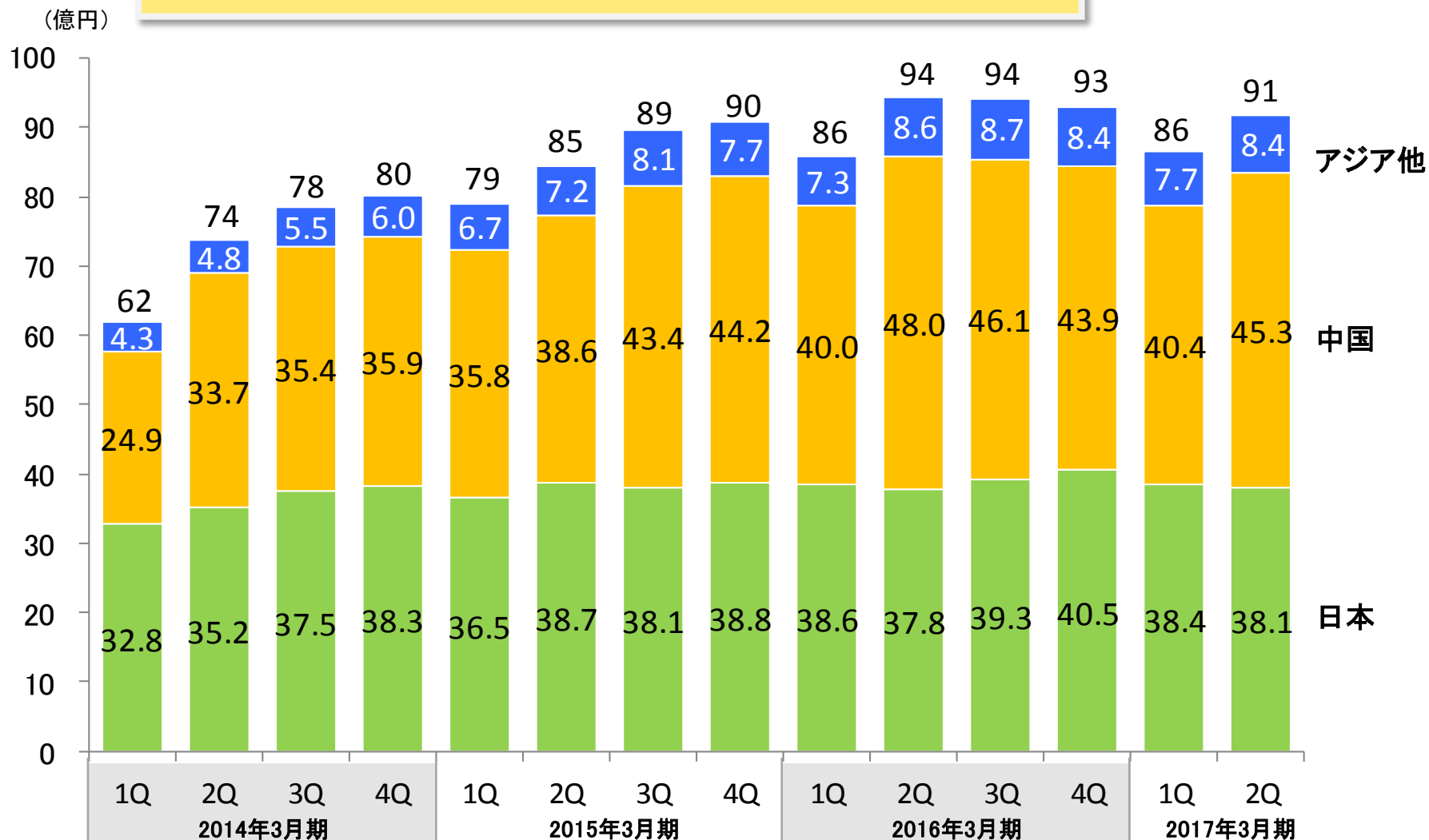
# 売上高と営業利益の推移

為替変動の影響等を受けつつも、第2四半期は増益を確保。



# 地域別売上高

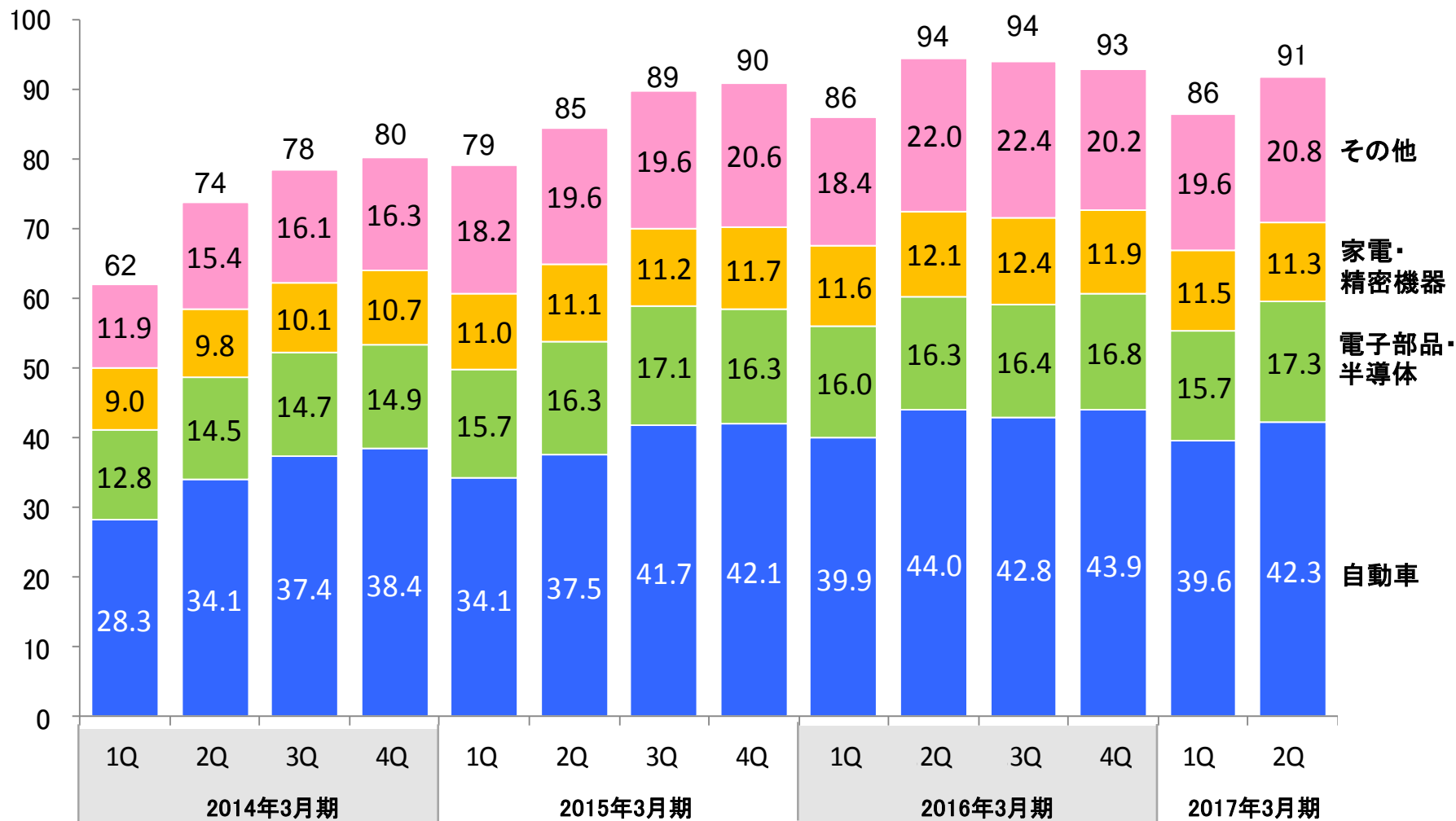
グローバルソーシングの効果もあり、「アジア他」が好調。



# 業種別売上高

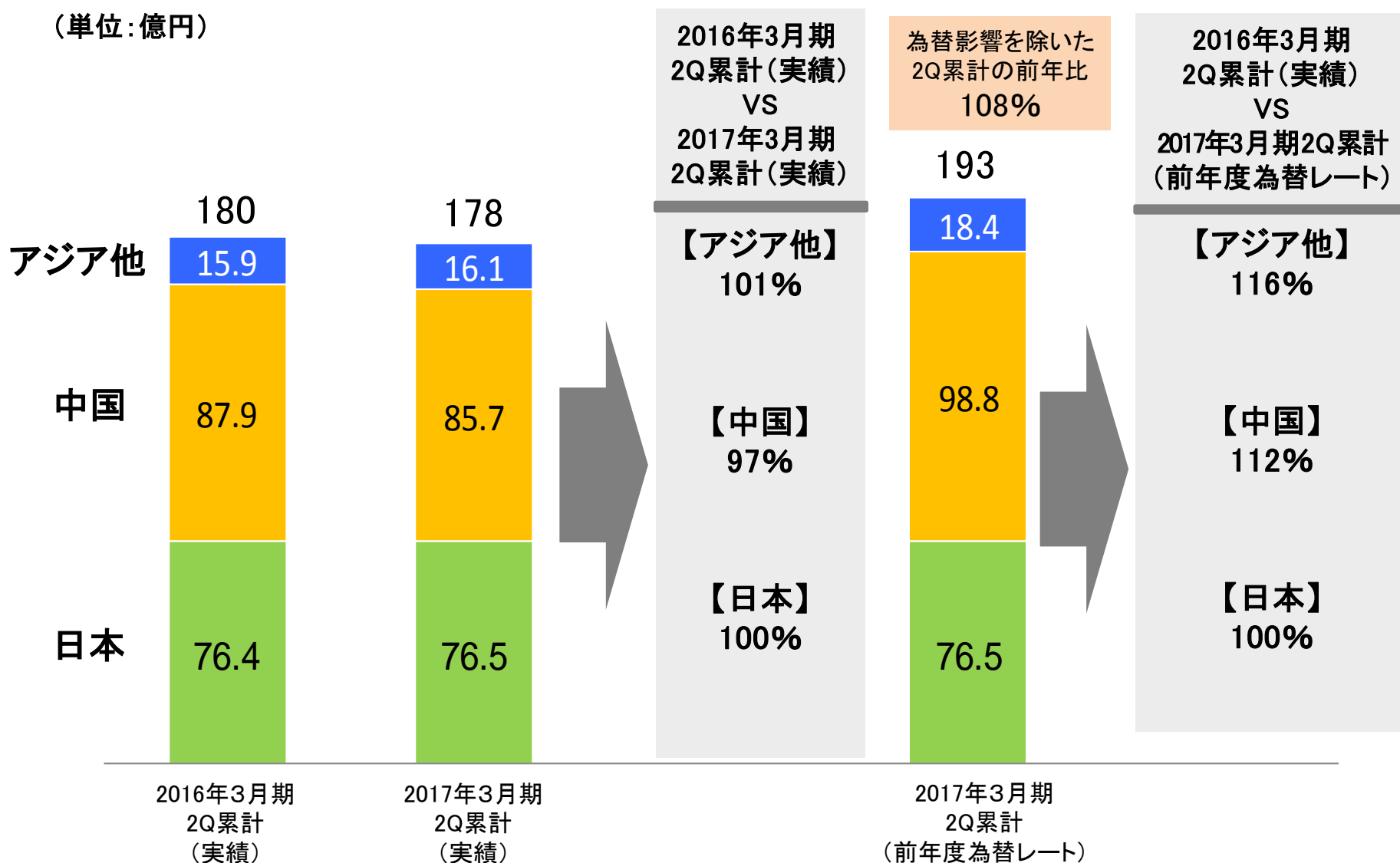
電子部品・半導体が堅調に推移。

(億円)



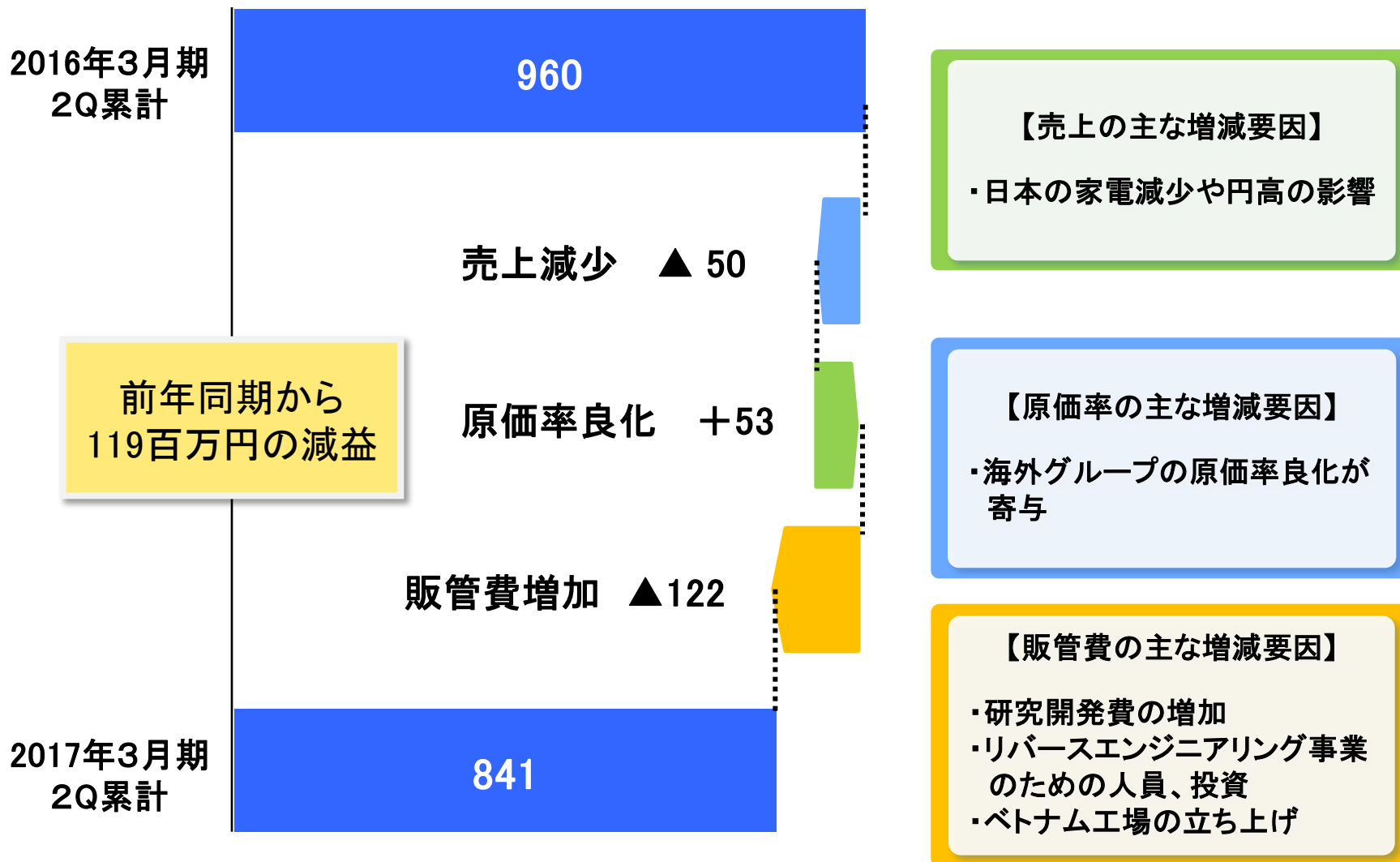
# 地域別売上高～前年度為替レートベース概算～

(単位:億円)



# 営業利益増減

(単位:百万円)



# 財務状況

(単位:百万円)

	2016年3月期末	2017年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	27,337	27,596	258
総負債	13,338	15,010	1,672
うち有利子負債	5,429	6,385	955
純資産	13,999	12,585	▲1,414
ネット資金	▲2,108	▲2,527	▲418
自己資本比率	51.2%	45.6%	▲5.6pt

	2016年3月期 第2四半期累計	2017年3月期 第2四半期累計	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	530	1,159	628
減価償却費(無形固定資産含む)	706	676	▲29





# 3. 2017年3月期 業績予想

# 2017年3月期通期連結業績予想数値の修正及び配当

(単位:百万円)

	2017年3月期			【参考】 2016年3月期 実績
	期初予想 (5/11公表)	修正予想 (11/10公表)	修正予想差 (修正予想比)	
売上高	37,000	35,700	▲1,300 (96.5%)	36,755
営業利益	5.4% 2,000	5.0% 1,800	▲200 (90.0%)	5.4% 1,986
経常利益	5.2% 1,935	4.8% 1,700	▲235 (87.9%)	4.5% 1,666
親会社株主に帰属 する当期純利益	3.8% 1,400	3.5% 1,250	▲150 (89.3%)	3.4% 1,249
<b>2017年3月期 配当予想</b>	中間 13円(実施) + 期末 13円 = 26円			



# 4. 中期経営計画 「バリュークリエーション2020」の進捗

# 「バリュークリエーション」の重点経営課題

バリュークリエーション15

グローバル化

新市場の開拓

高収益事業  
モデルへの転換

バリュークリエーション2020 “2020年にありたい会社像”

販売5極体制の確立

- ・欧米での販売体制確立
- ・5極販売のグローバル企業

お客様サービスの向上

- ・お客様から支持される企業
- ・技術力の向上

高収益事業の推進  
R&D強化

- ・高付加価値製品の拡充
- ・原価低減(ものづくり改革)

働き方改革

- ・業務効率の向上
- ・最適なワークライフバランス
- ・ダイバーシティの実現

パンチスピリット ～創業者精神への回帰～  
チャレンジ × 創意工夫 × 自由闊達



# バリュークリエーション2020の基本戦略

	日本	中国	東南アジア インド	欧州	米州
販売5極体制				販売体制確立	
お客様サービスの向上	グローバルソーシング(最適調達) グローバル企業との取引拡大				
	リバースエンジニアリング				
高収益事業の推進	カタログ品 & 特注品の生産体制再編 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム工場操業開始</li> <li>・日本、中国での特注品生産の拡充</li> <li>・金型用部品の全世界供給</li> </ul>				
R&D強化	食品関連の強化 航空宇宙産業関連へ進出				
	医療関連の拡販				
働き方改革	社員重視の経営・組織力の強化 グローバル人材の育成				

# 販売5極体制

技術力と品質で商機のある地域・業種も見え、米国にグループ会社（販売拠点）設立。  
アジア集中から、欧米エリアでの販売体制確立に向けた歴史的な第一歩。

## グループ会社の概要

### 会社名

PUNCH INDUSTRY USA INC.

### 設立予定地

米国 イリノイ州

### 事業内容

金型用部品の販売

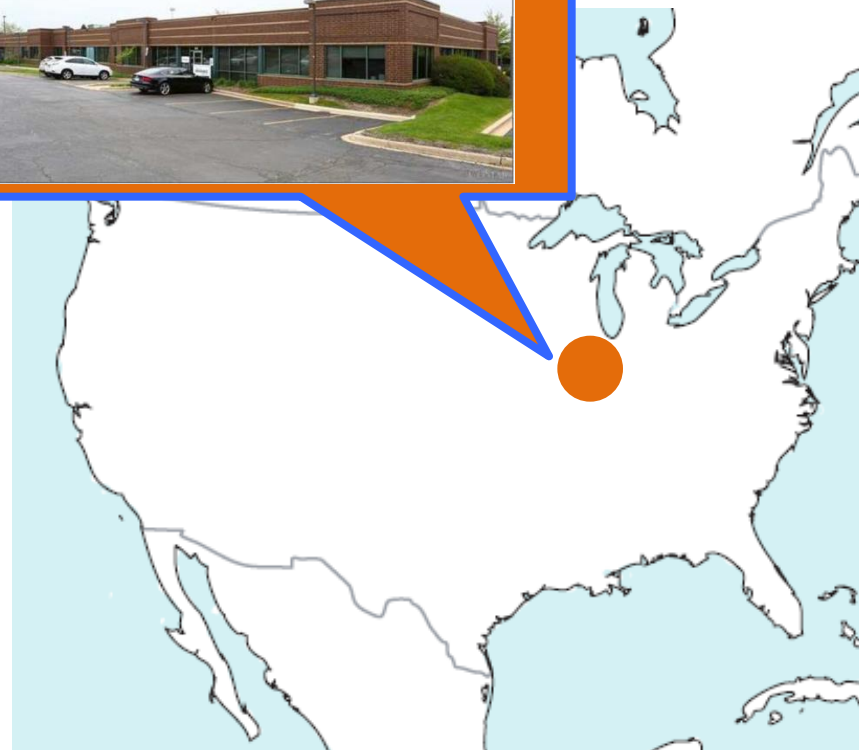
### 資本金

300千米ドル（約30百万円）

### 営業開始年月

2017年4月（予定）

### <新設> USパンチ



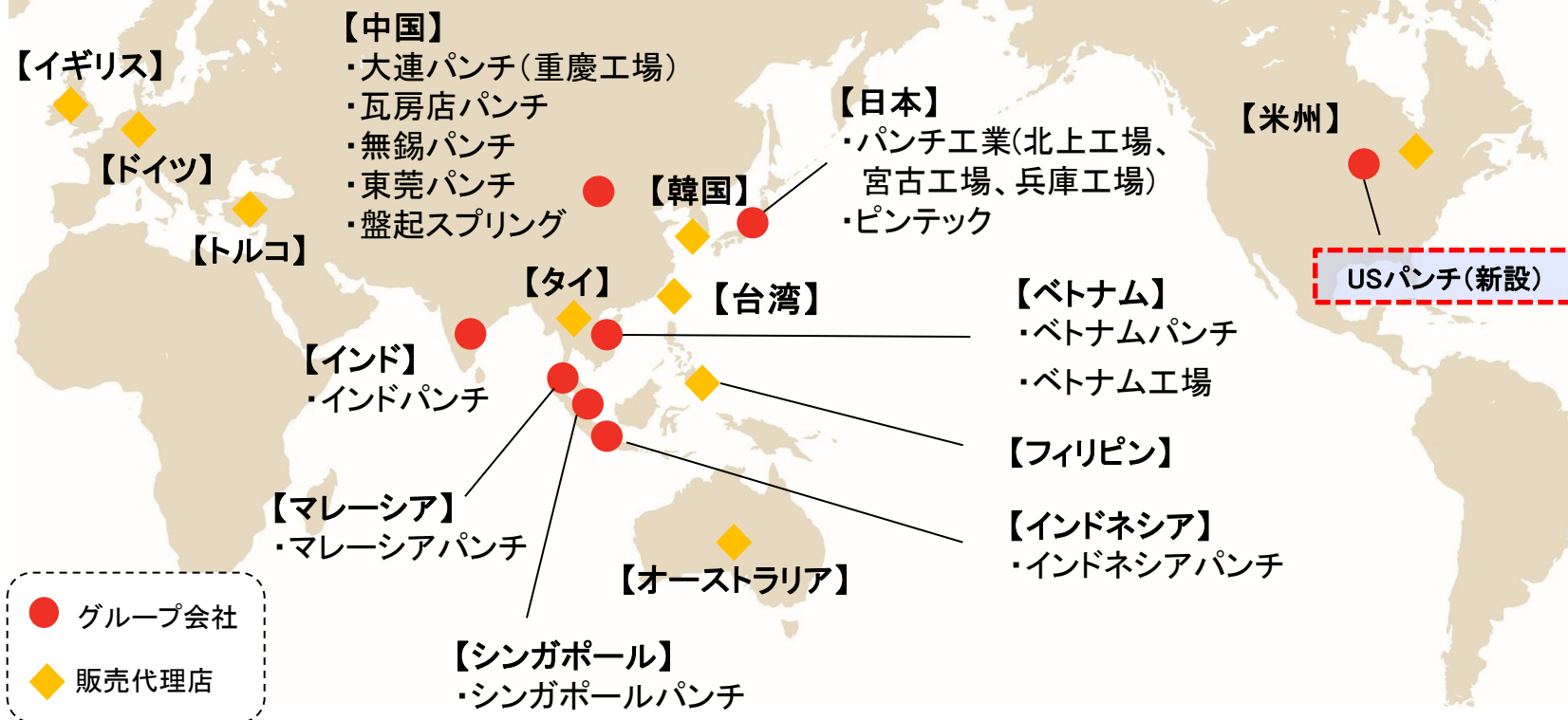
# パンチグループのネットワーク

## 生産拠点数

日本	海外
4	8
カ所	カ所

## 販売拠点数

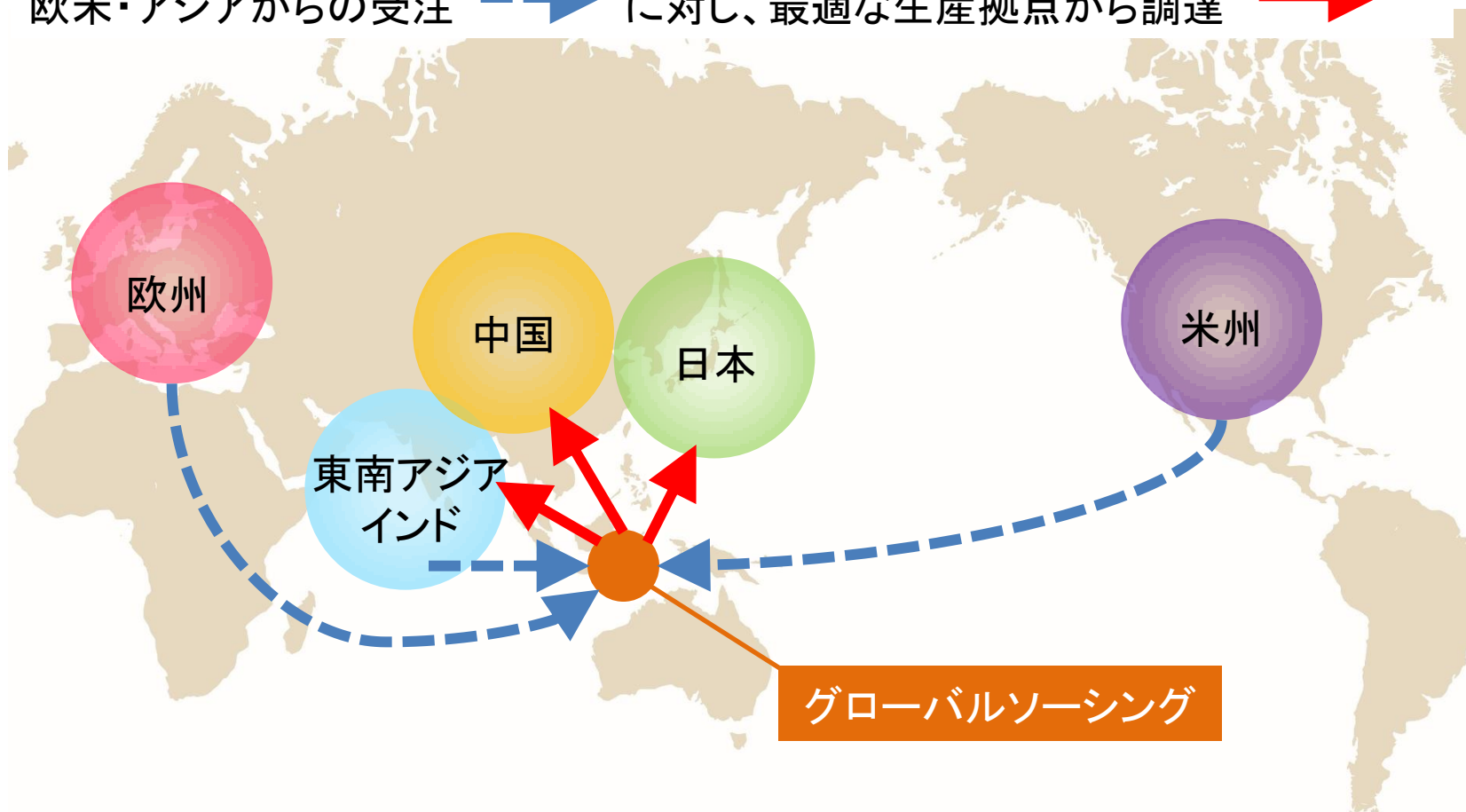
日本	海外
14	39
カ所	カ所



# お客様サービスの向上①

グローバルソーシング効果により、欧州からの受注が拡大。

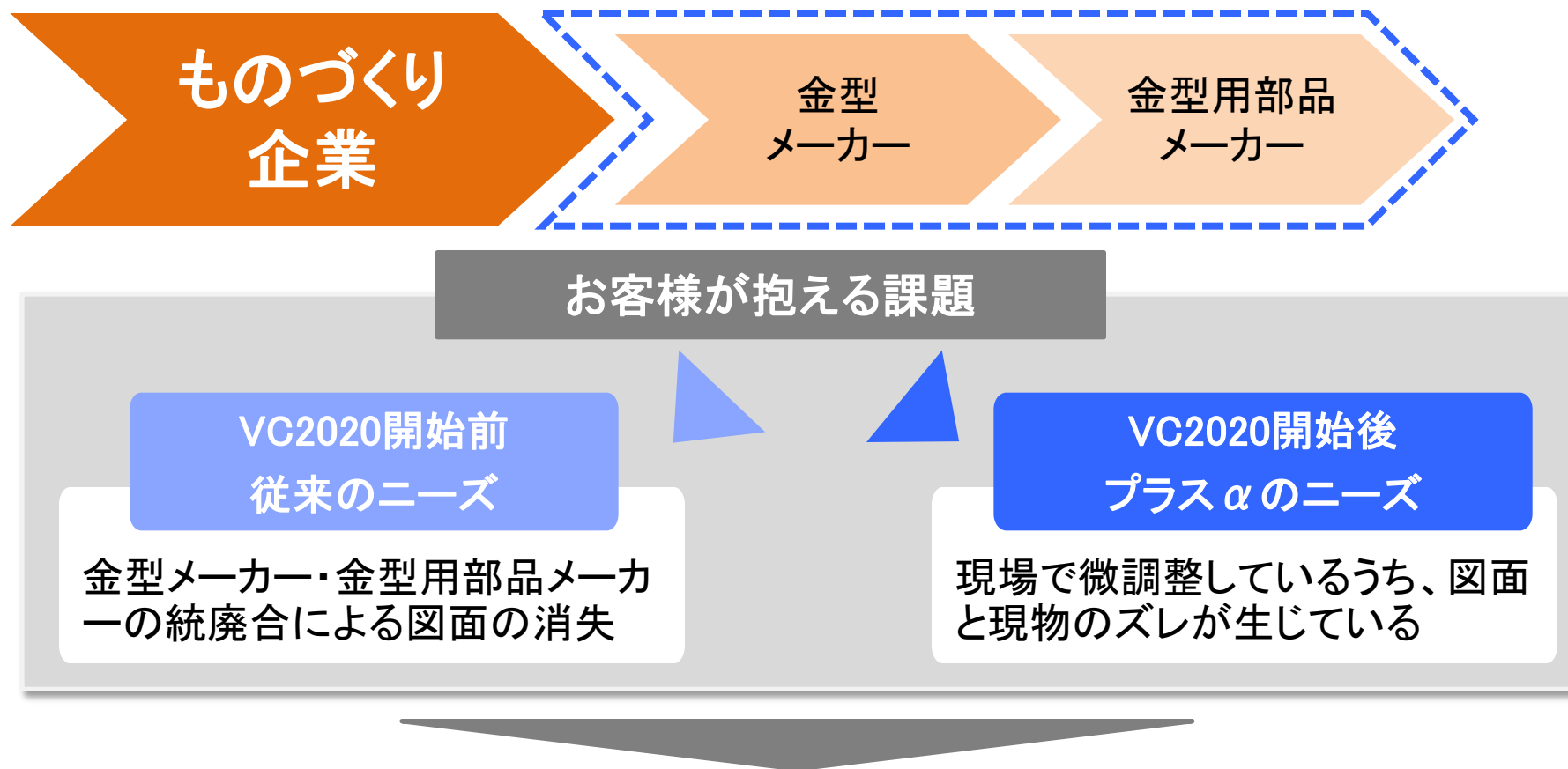
欧米・アジアからの受注  に対し、最適な生産拠点から調達 





## お客様サービスの向上②

リバースエンジニアリングによるお客様の課題解決は順調なスタート。



お客様の幅広いニーズにお応えするため、設備を追加

# 高収益事業の推進

## 【投資による助走期間(2016～2018年度)】

### STEP ①

■ベトナム工場操業開始

10月1日より本稼働開始

■中国からベトナムへ生産移管

進行中

### STEP ②

■中国工場内による生産移管

進行中

■中国工場での特注品の生産強化

飲料関連等を強化中

### STEP ③

ベトナム工場から日本工場へ、低原価の半加工製品を供給

## 【狙い】

■日本

カタログ品の原価率改善

■中国

特注品の生産強化、収益力強化



# 働き方改革

## ■ <働き方改革>が目指すもの

★ワーク・ライフ・バランス

★ダイバーシティ



◆仕事を通じた「社員の幸福」の実現

◆生産性改善による「業績の向上」

◆社員が誇れる「世界のパンチ」へ

【パンチスピリット】

チャレンジ × 創意工夫 × 自由闊達

①制度・しくみ・ルールの改革

②オペレーション改革

③ツールの整備

④風土改革



# 5.参考資料



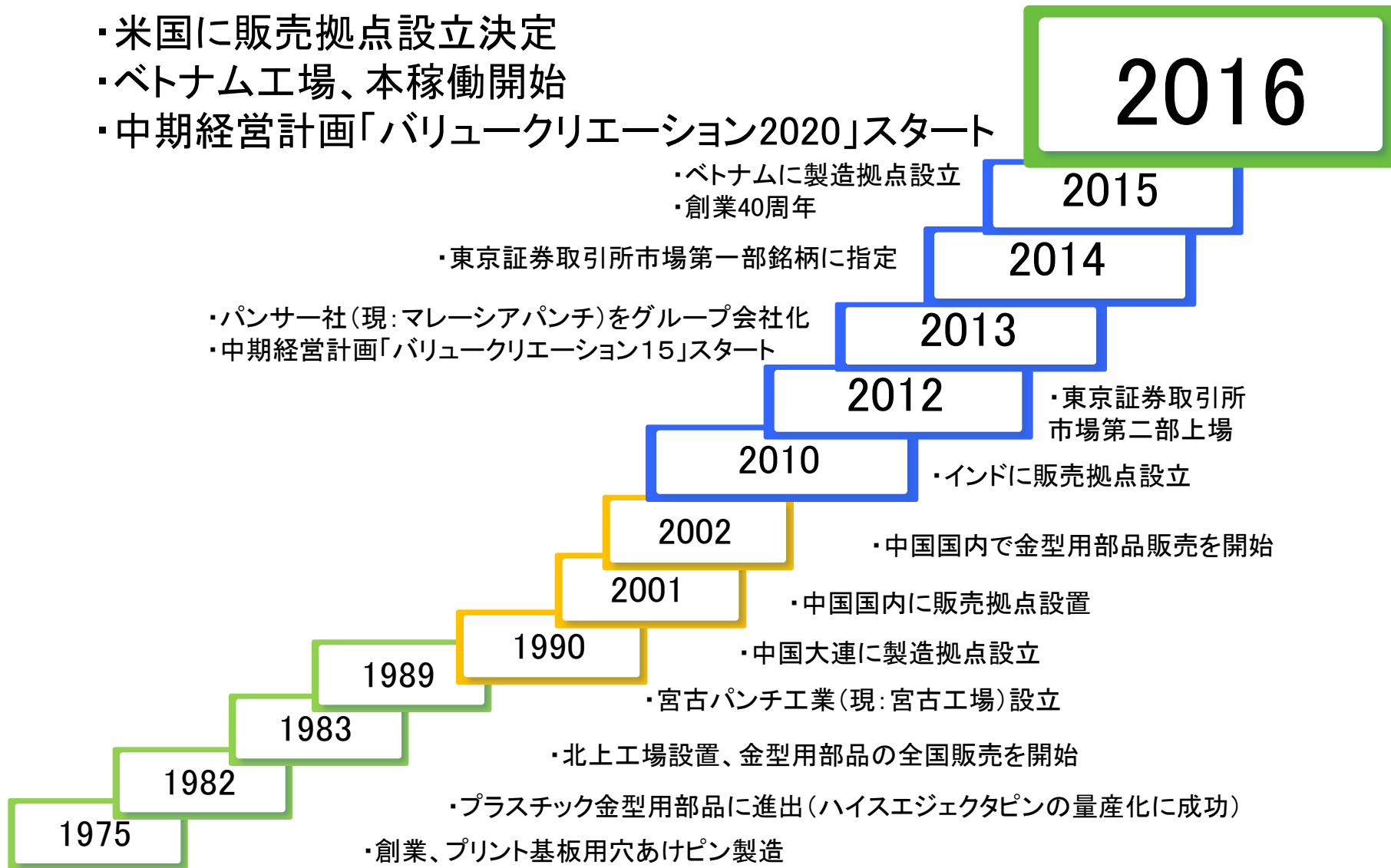
# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	3,836名(グループ連結、2016年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起弾簧(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD.(マレーシア・クアラルンプール)※ PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)

※PANTHER PRECISION TOOLS (KL) SDN. BHD. は、PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.に事業を移管したため、清算手続中であります。

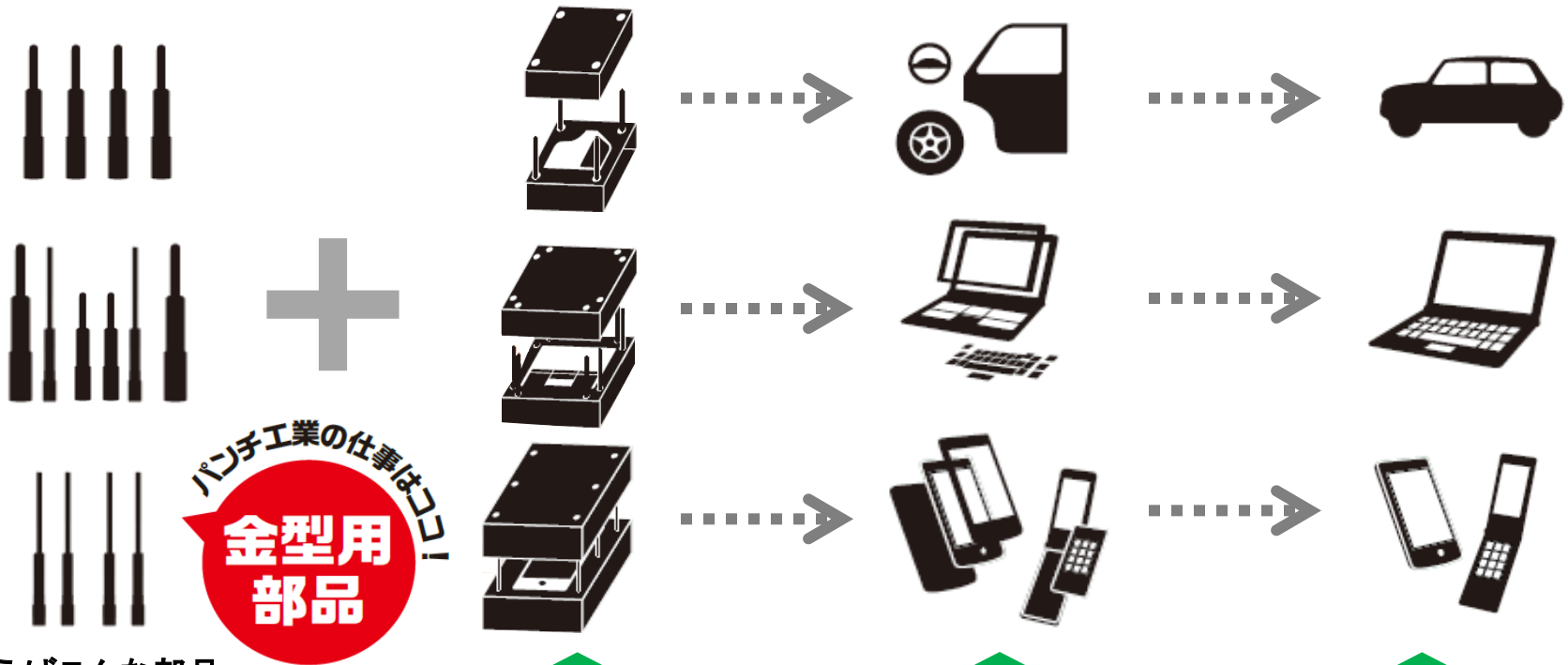


# 沿革



# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売。



たとえばこんな部品



## 金型

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

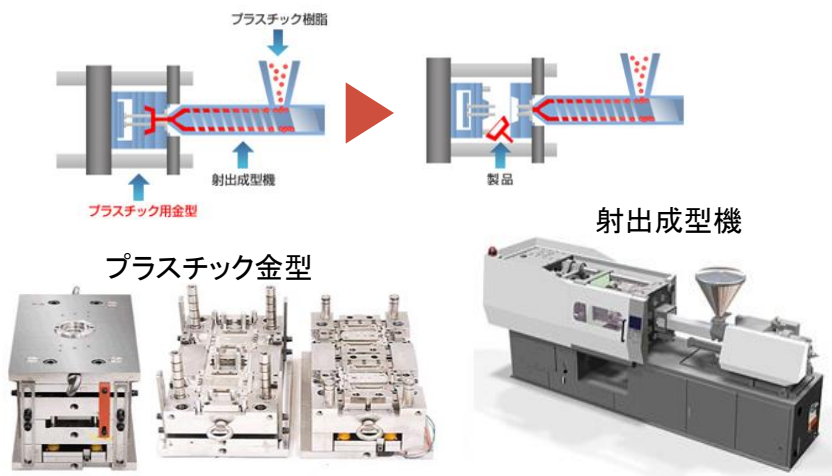
## 構成部品

製品を構成するために必要となるパーツ

## 製品

自動車や家電など私たちが身近で使うさまざまな製品

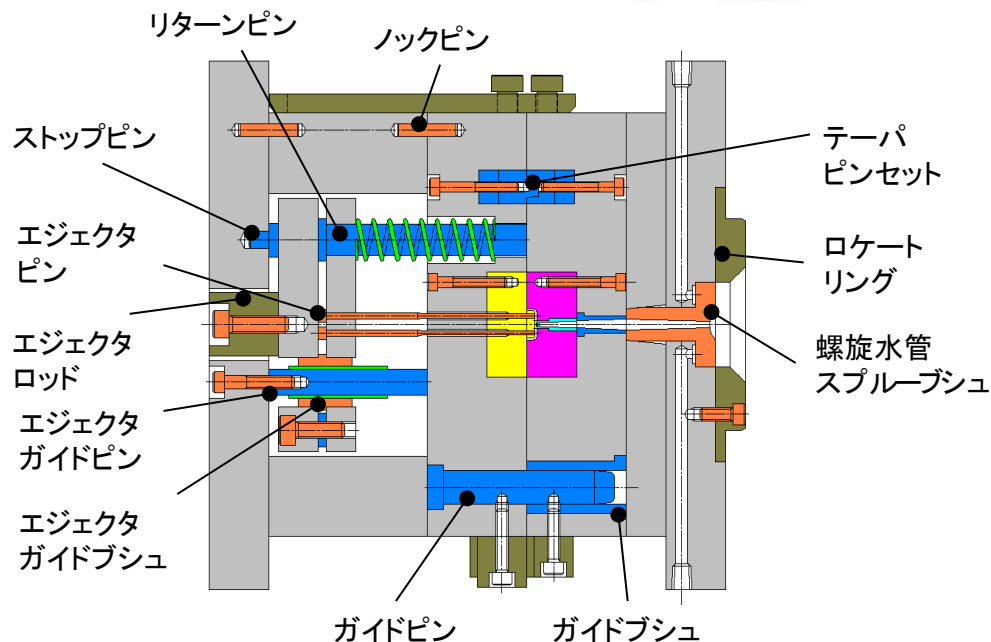
# プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング



## ●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

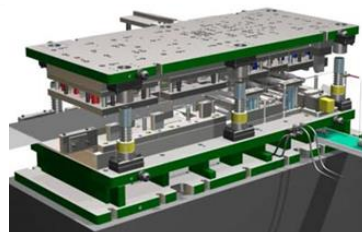
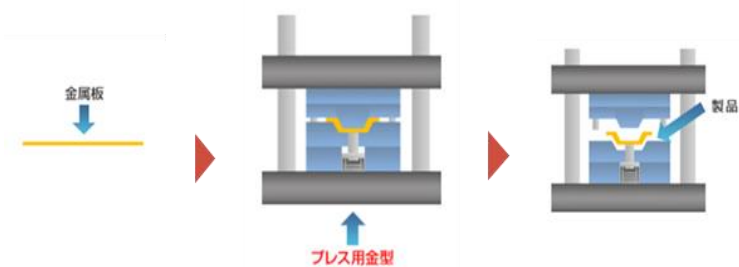
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン**・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ**・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



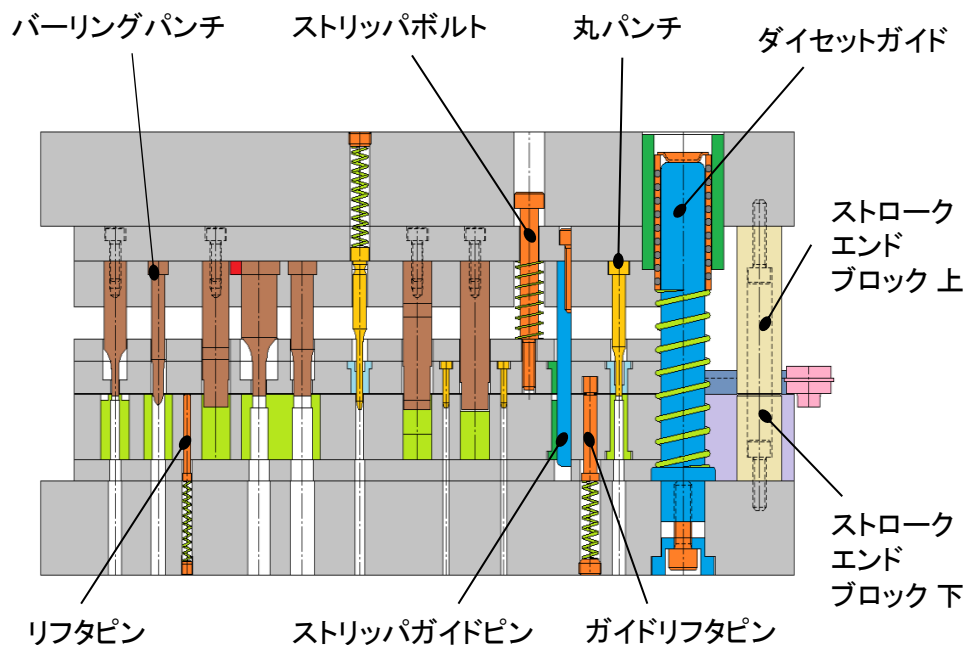
# プレス金型と金型用部品



プレス金型

パンチ

ダイセットガイド



## ●プレス金型用部品について

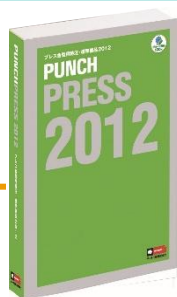
プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

# パンチグループの強み

## お客様に高い満足度を提供



### カタログ品

汎用性の高い標準製品を  
豊富にラインナップ

スピーディな  
ソリューション

### 特注品

カスタムニーズにも  
柔軟に対応



一気通貫の生産体制

1,800台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

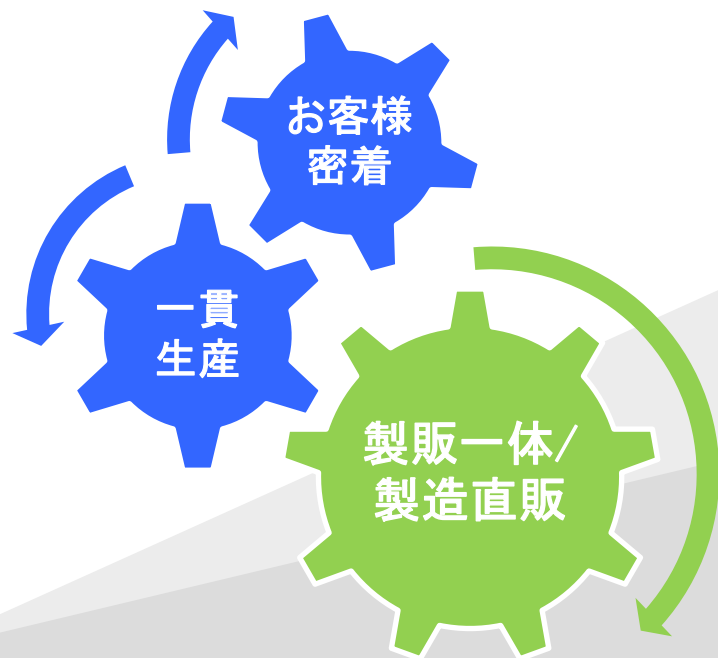


# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

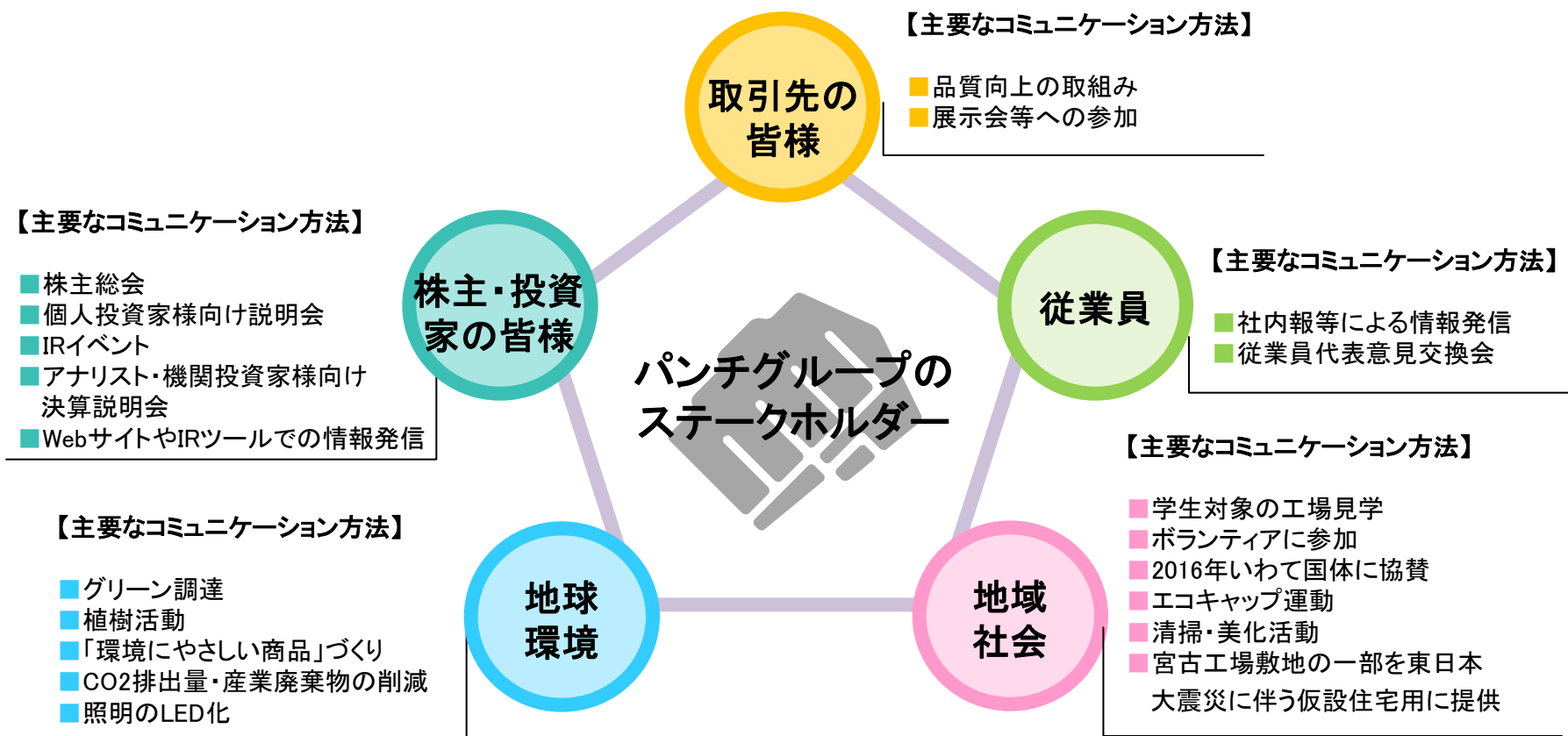
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



個人投資家様向け会社説明会の様子



植樹活動の様子



エコキャップ運動



【いわて北上マラソン】  
マラソンボランティアの様子

本日は、誠にありがとうございました。



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。  
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。  
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。